

まちづくりびと ニュース 第11号

平成 22 年 4 月 発行

<目 次>

- P1 まち“夢”工事第2次選考会
- P1 大学と地域を結ぶ、「名古屋まちづくり縁・カレッジ」キックオフイベント
- P2 まちづくり活動団体交流会
- P3 いろいろな分野で活躍する「まちづくりびと」の近況報告
- P7 編集後記

今年度の「まち“夢”工事部門」採択団体が決まる

平成 21 年度のまちづくり活動助成「まち“夢”工事部門」の第 2 次選考会が 2 月 27 日に開催され、2 団体が採択され、これから 1 年かけて工事を行うことになりました。これまで平成 19 年度 4 団体、平成 20 年度 5 団体に比べると少し寂しい団体数となりましたが、平成 22 年度は名古屋で COP10 が開催され、環境への関心が高くなったのか、小幡緑地内での「市民が憩える自然生態園を目指して（散策路づくり）」（愛知守山自然の会）、リサイクルから、リユース、さらにはリデュースへ「地域の 3D 活動拠点の創設」（中部リサイクル市民運動の会）が採択されました。（くわしくは、都市センターのホームページ「まち“夢”工事部門第 2 次選考会の様子」をご覧ください。）



パワーポイントでプレゼンテーションする市民団体

大学の地域連携

「名古屋まちづくり^{エン}縁・カレッジ」キックオフイベント

まちづくりの交流拠点をめざし活動する（財）名古屋都市センターは、大学・大学人・学生と地域まちづくりとの連携促進を目的として、大学地域連携ネットワーク組織を大学教官と共同して設立することとなり、その設立のイベントが開催されました。

- 開催日 平成22年2月28日(日)
- 開催場所 名古屋都市センター大研修室(金山南ビル11階)

これまでも、まちづくり活動助成に大学の先生方が関係しているケースや、学生が団体を作り活動するケースがありました。大学の地域への取り組みを一層進めまちづくりへ「大学の知とパワー」を注入すべく組織化しました。

来年度からは具体的な活動として、大学の地域活動に対する情報交換を行うとともに、具体的な地域を対象としていくつもの大学が参加して、地域のあり方を提言していく取り組みを行っていききたいと企画しているところです。

(くわしくは、名古屋都市センターホームページ「名古屋まちづくり縁カレッジ」キックオフイベントをご覧ください。)



団体の取組を熱心に聞くポスターセッション



河村市長も学生に質問



千葉県柏市での公民学連携を開く

名古屋まちづくり縁・カレッジが拍手で設立されました。(右)



まちづくり活動団体交流会

- 開催日 平成22年3月6日(土)
- 開催場所 名古屋都市センター大研修室

これまで助成してきた団体を含む133団体に声かけし、15団体27名で交流会を開催しました。今年度は、各団体に共通して課題だと思われる地域と市民団体、市民団体相互などの「連携」をテーマにワークショップ形式で交流をしました。



エコ交通マップワークショップ ～天白区池場地区での実践～

＋まちづくり 河合耕三

昨年度、名古屋市交通政策室主催でおこなわれたエコ交通マップの第一弾となる“天白区池場地区”でのワークショップ。そして、都市センターの講座として行われた“エコ交通マップファシリテーター講座”。また、今年度は「緑区」と「守山区」でもエコ交通マップづくりのワークショップが行われたそうです。



エコ交通マップには、「ワークショップでのマップづくりを通じて、日頃の交通行動を考えてもらいエコな交通へ転換してもらう目的」と、「実際にマップを利用してエコな交通ライフを実践してもらう目的」があるのかと思います。前者については、ワークショップを開催して多くの人にマップづくりに関わってもらうことに意義があり、後者については時間とともに変化する情報を最新のものに更新したり、より利用しやすいマップにするために内容を改良したりする維持管理が重要になってきます。また、マップを更新する活動により、自分の住むまちを良くしていく活動に発展していく可能性もあるのではないかと考えています。

さて、昨年、マップづくりを行った天白区の池場地区ですが、マップの灯が消えかけていたことに、今年たまたま天白区役所で「いつまでも住み続けたい天白区づくり支援事業」というのが始まり、＋まちづくりで応募したところ補助金を受けることができました。

今年のマップづくりでは、公募で集まっていた池場地区の方たちから、さまざまな自由な意見をいただき、下のエコ交通マップが出来上がりました。昨年のマップを使ってみた感想から、より使いやすいマップへと改良されたのではないかと感じています。さらに欲を言えば、エコ交通マップの活動が池場の人たちの手で継続していくうれしく思います。

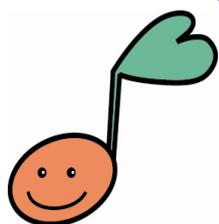
最後に、今回のワークショップを主催してみて、参加してくれる方を集めるむづかしさを実感させられました。もっともっと、市民活動を身近で気軽に参加できるものにしていきたいと思いました。・・・ワークショップ自体の魅力も足らなかったのかなあ。



池場エコ交通マップ（表紙面）



池場エコ交通マップ（マップ面）



名東まちづくりフォーラム & めいとうかえるプロジェクト



まちづくりびとのみなさん、こんにちは。一期修了生の枇榔です。
とはいえ、ここ五年、何らかのかたちで入門講座には関わらせていただいているので、まちづくりびとのみなさまには何らか見覚えがあるかもしれません。
ありがたいことに、すっかり古狸です（！？）

☆☆☆☆☆

さて今回は、たまたまご縁があって関わらせていただいた「名東まちづくりフォーラム」と「めいとうかえるプロジェクト」について、修了生の近況レポートとしてご紹介させていただきます。

名東区役所さんが主催で行った「名東まちづくりフォーラム」から新しいプロジェクトが生まれました。そのなかのひとつが「めいとうかえるプロジェクト」です。他には「名東こども会議」「楽市楽座」「パノラマハンズ」…。講座修了生でまちづくりびとの方が、企画の中心となって関わられているものもあり。名東区のまちづくりびと養成講座のその後の動きとしても、何かが始まるかもしれません（！？）お楽しみに！

「めいとうかえるプロジェクト」では、今年は植田川をテーマに自然活動を行います。私はいよいよ、まちづくりに関わる動機であるハード整備のデザインもここをデビューの場として行いたいな～と思ったりします。

「名東まちづくりフォーラム」は市民団体として実行委員会が起動しますので、まちづくりびとのみなさんも、ご興味がある方はご参加ください♪



はち丸のブログにも載りました♪
当方「名古屋まち散歩」ブログも、はち丸をご紹介♪

「名東まちづくりフォーラム」では、一年の会議の発表の場として、今年一月に名東文化小劇場で、まちおこしにも参加されている地域のウインドオーケストラと一緒に発表の場を設けました。

（写真は広報なごや名東区版に掲載されたもの）

舞台のプランニングなども、昔の杵柄で（？）気がつけば少し関わらせていただきました。キャラクターも作成♪

とどめに当日の司会まで…！これは初の体験なので緊張です。

まちづくりびとの真鍋さんと、吉村さん、そして発表者の一人は巾さんと、まちづくりびとの方が舞台のあちこちに。

今年新しくまちづくりびとデビューされた方々も、当日みなさんお越しいただき、ありがとうございました！

「日比野ひとまちネット」おかげさまで一周年です！（三田 祐子）

平成 20 年度のまちづくりびと養成講座が終わっても、講座のモデル地区であった“熱田区の日比野”への思いをかたちにしたいよね～。まだ始まったばかりだよ～。なんて考えていた講座修了生を中心に、どんなことする？規約は？そして団体名はどうする？ということから始まり「日比野ひとまちネット」は誕生しました。

まずは、4月ひびのこいまつりでの“パン屋さんになっちゃお！”という親子で作ったパンを販売し、働くことの楽しさ大変さを学ぼう！という企画に始まり、9月の熱田区民まつりでは“雑貨屋さんになっちゃお！”と日比野商店街振興組合とふたつの連携事業を行いました。

月 1 回様々な分野の講師の方を招いて地域のことを考えよう！という熱田区の助成を受けた「あったか交流サロン」では名古屋開府 400 年・障害者福祉・堀川のお話・親子で冬を楽しもう（図書館のお話&歌）などを開催しました。



そして、愛知県産食材でたこ焼きを作るという 1 つの作業を通して異世代交流をはかろう！と名古屋都市センターのまちづくり活動助成（はじめの一步部門）を受けた企画は大盛況に終わることが出来ました。

この様に、日比野商店街振興組合・熱田区役所・熱田生涯学習センター・名古屋学院大学地域連携センター・カフェ&ベーカリー mile post と日比野ひとまちネットという6つが連携・協働しあって様々な事業を行うことが出来ました。

各活動の事前準備に追われながらも、みんなの充実した顔を見てきたら、これからの一年はどんな展開があるのだろうとまた楽しみです。二年目も6つの連携を大切に活かし、人・地域のつながりを深め、広げていければいいなあ・・・と思っています。きっと二周年記念祝賀会（飲み会）はさらに盛り上がり楽しいものになりますね（笑）

みなさ～ん、日比野に一度遊びに来てくださいね！！



日比野こいまつりで出展



「色彩を通してみる都市環境と都市文化」

「色彩を通して社会貢献をしたい!」と思った私が「まちづくりびと」になったのは4年前。その後、講座で知り合ったメンバーと、地域に根ざした街づくり活動をするため、「+まちづくり」(<http://plus-machi.org>)を結成し、講座スタッフとしてお手伝いする機会にも恵まれました。

その中のメンバーと、私の色彩の受講生とともに、3年間にわたり色彩研究を続けられたのも、「まちづくりびと」になったおかげです。

これまでに行ってきた色彩研究を、名古屋のまちづくりにも役立てていきたいと思い、21年度の市民研究員になりました。

色彩がまちの景観や私たちの心に及ぼす影響は計り知れません。

「色彩が変われば、まち並みが変わる」そして、「まち並みが変われば、人も変わる」ということをお伝えするとともに、豊かな色彩感覚を育てていくきっかけとなればと思い、スタートしました。

しかし、実際には、仕事との両立が難しく、チームの中ですら、想いを伝えていくのが難しいと感じた一年でした。

チームワークで行うことの素晴らしさや難しさを感じるのは、実際のまちづくりにおいても同じでしょう。

この経験は、近い将来必ず生かされると思います。

市民研究Ⅱ報告 『色彩を通してみる都市環境と都市文化』をライブラリーで見かけたときには、是非、ご覧ください。



■初回

メンバー全員、期待と不安に胸を膨らませ、スタートしました。



■街頭でのアンケート

おそろいの帽子と腕章をつけて行いました。



■ミーティング

締め切りまでのラストスパート、想像以上に大変でした。

■■■■お世話になりました・なります■■■■

前 調査課 青山 嵩です。

長い間お世話になりました。支援班ができた時からお世話になり、5年が経過しました。その間、さまざまな人と出会いましたが、まちづくりはいろいろな分野の人たちを結ぶことを学びました。今後も人と人との繋がりを活かして、まちづくりを考えていきたと考えていますので、どこかの街角でお会いした時はよろしくをお願いします。

青山の後任の 柴山 秀雄です。

ベテランの青山の後任として4月1日付けで都市センターに嘱託員として採用されました。名古屋市に在職している頃は、主として区画整理事業というハードな街づくりに携わってきました。

今度はまちづくり支援というソフトな面から、今までとは違う経験をさせていただく機会と思っていますので、よろしくをお願いします。

編集後記

支援班の仕事も市民団体への活動助成、まちづくりびと養成講座を柱として5年、継続は力なりといわれるように、まちづくり活動助成団体は延べ109団体、まちづくりびと養成講座（入門編）修了生145人、まちづくりびと登録者は121人となりました。そして、まちづくり活動団体や講座修了生のその後のまちづくりのご活躍を聞くにつけ、市民によるまちづくりが着実に根付いてきていることに喜びを感じています。

今回は、まちづくりびとのご活躍を、いくつか具体的にご紹介させていただきました。

現在、名古屋市でも地域委員会を設立して地域の自主的な活動を重視していく姿勢が見られるように、今後、地域からの発想によるまちづくりはますます重要となり、地域資源を住民とともに掘り起こすコーディネーターの役割も一層、大切になってくるものと期待されます。

また、最後になりましたがこの3月で（財）名古屋都市センターは（財）名古屋都市整備公社と統合することになりました。しかし、名古屋都市センターは仕事の内容は変わらずこれまで通り継続していきますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

（T. A）

■皆さんの活動など、ニュースに載せてもよい記事などがありましたら、お寄せください！

名古屋都市センター 調査課 まちづくり支援担当

<メンバー>安田、清水、雲林院、柴山

〒460-0023 名古屋市中区金山町一丁目一番一号金山南ビル13階

TEL 052-678-2214 FAX 052-678-2211

E-mail shien@nui.or.jp